

工事調査表－1 積算内訳書(低入札価格調査通知日の翌日から2日以内及び工事完了後しゅん工届提出時に提出)

積算内訳書

工事名		令和2年度 防災林造成事業 第2号工事						
工種	単位	入札時				工事完成時		
		予定価格		当初入札額		最終契約額	最終実績額	
		金額(a)	備考	金額(A)	備考	金額(C)	金額(B)	備考
直接工事費		3,234,728		2,964,194			3,511,500	
準備費		17,248		17,248			25,000	
共通仮設費		174,675		160,380			160,380	
純工事費		3,426,651		3,141,822			3,696,880	
現場管理費		1,453,928		1,335,538			1,335,538	
工事原価		4,880,579		4,477,360			5,032,418	
一般管理費等		1,119,421		1,032,640			1,027,582	
工事価格合計		6,000,000		5,510,000		6,000,000	6,060,000	
消費税		600,000		551,000		600,000	606,000	
工事費計		6,600,000		6,061,000		6,600,000	6,666,000	

工事調査表-2 工事費内訳書(低入札価格調査通知日の翌日から2日以内及び工事完了後しゅん工届提出時に提出)

工事費内訳書

工事名		令和2年度 防災林造成事業 第2号工事											
工種	入札時						完成時				(b)/(a)	(b)/(a)が0.95~1.05を外れる場合その理由を記入	
	予定価格(竣工時に記載)			当初入札額			最終契約額 金額(C)	最終実績額					
	数量	単位	金額	数量	単価(a)	金額(A)		数量	単価(b)	金額(B)			
保安林整備													
地拵 (A5) 0.19ha	1	式	588,059	1	539,339			1		520,000	0.96		
地拵 (A1) 0.69ha	1	式	513,562	1	471,317			1		325,000	0.69	伐採木が減、ビニール無しとなった。	
特殊伐採	1	式	626,450	1	575,050			1		680,000	1.18	伐採木が増となった。	
植栽工導入工 (A2,A5)	1	式	1,256,763	1	1,151,547			1		1,450,000	1.26	スイングヤーダ導入で増となった	
工事用道路工	1	式	133,569	1	120,216			1		203,500	1.69	現場の状況で増となった。	
防護施設工	1	式	116,325	1	106,725			1		333,000	3.12	スイングヤーダ導入で増となった	
直接工事費			3,234,728		2,964,194					3,511,500			
運搬費			17,248		17,248					25,000			
共通仮設費			174,675		160,380					160,380			
純工事費			3,426,651		3,141,822					3,696,880			
現場管理費			1,453,928		1,335,538	法定福利費 199,851含む				1,335,538	法定福利費 199,851含む		
工事原価			4,880,579		4,477,360					5,032,418			
一般管理費等			1,119,421		1,032,640					1,027,582			
工事価格計			6,000,000		5,510,000		6,000,000			6,060,000			
消費税			600,000		551,000		600,000			606,000			
工事費計			6,600,000		6,061,000		6,600,000			6,666,000			

工事調査表－7 工種別従事者配置計画(低入札価格調査通知日の翌日から2日以内及び工事完了後しゅん工届提出時に提出)

工種別従事者配置計画

工事名		令和2年度 防災林造成事業 第2号工事													
工種	種別	入札時					計 (A)	工事完成時					計 (B)	(B)/(A)	(B)/(A) <1の場合 その理由を必ず記入 (*下請けへのしわ寄せと 判断された場合は、工事 成績が減点されます)
		配置予定人数						配置予定人数							
		世話役	普通 作業員	特殊 作業員	オペ			世話役	普通 作業員	特殊 作業員	オペ				
保安林整備	地拵え	7	29	55			91	4	5	48			57	0.63	対象木が減になった
保安林整備	植林	2	5				7	1	7				8	1.14	
防護柵工		1	14				15	1	18				19	1.27	
仮設工、筋工		1	5				6	1	26				27	4.50	
工事用道路		2	5		10		17	1				11	12	0.71	現場の状況により減となった
現場管理 (書類作成)		5					5	10					10	2.00	
現場管理								13					13		現場の状況により増となった
		18	58	55	10		141	31	56	48	11		146		

各様式共通

1. 調査対象者又は受注者は、発注機関の長があらかじめ指定した期日（低入札価格調査通知日の翌日から起算して2日以内及び工事完了後しゅん工届提出時）までに記載要領に従って作成した各様式及び各様式の添付書類を提出しなければならない。
2. 提出期限以降における提出書類の差し替え及び再提出は、認めない。ただし、発注機関の長が記載要領に従った記載とし、又は必要な添付書類を提出するよう教示をした場合は、この限りでない。
3. 各様式に記載した内容を立証するため、各様式ごとに提出すべき添付書類のほか、受注者が必要と認める添付書類を提出することができる（この場合、任意の添付書類である旨を各資料の右上部に明記するものとする。）
4. 調査対象者又は受注者は、資料提出にあたり、紙ベースと電子データ（工事調査様式1～2、工事調査表1～8）により協議し、発注者の確認後すみやかに指定様式をPDFファイルとして提出する。

工事調査表－7 工種別従事者配置計画

1. 本様式には調査表－6の計画により確保する従事者の配置に関する計画を記載する。
2. 「配置予定人数」欄は、長野県が公表する職種のうち必要な職種について記載する。

添付書類

1. 本様式に記載した自社従事者の職種ごとの配置計画を添付する。

工事調査様式一2(黒字・赤字ともに記入、しゅん工届提出時に提出) 赤字の理由(赤字の場合)

最終実績額(B)(工事費計)←調査表1	6,060,000
最終契約額(C)(工事費計)←調査表1	6,000,000
落札率(A/a)←調査表1	91.90%
最終実績率(B/C)←調査表1	101%
合計額が、B/C>1.0(赤字)の場合記入する	

赤字の理由	<p>1, 筋工設置にスイングヤーダを導入した為。</p> <p>2, 仮設道復旧工事に井水2本があり手間だった為。</p>
-------	--

各様式共通

1. 調査対象者又は受注者は、発注機関の長があらかじめ指定した期日(低入札価格調査通知日の翌日から起算して2日以内及び工事完了後しゅん工届提出時)までに記載要領に従って作成した各様式及び各様式の添付書類を提出しなければならない。
2. 提出期限以降における提出書類の差し替え及び再提出は、認めない。ただし、発注機関の長が記載要領に従った記載とし、又は必要な添付書類を提出するよう教示をした場合は、この限りでない。
3. 各様式に記載した内容を立証するため、各様式ごとに提出すべき添付書類のほか、受注者が必要と認める添付書類を提出することができる(この場合、任意の添付書類である旨を各資料の右上部に明記するものとする。)
4. 調査対象者又は受注者は、資料提出にあたり、紙ベースと電子データ(工事調査様式1~2、工事調査表1~8)により協議し、発注者の確認後すみやかに指定様式をPDFファイルとして提出する。

工事調査様式2 赤字となった原因

1. 当該工事で赤字となった理由を、労務費、手持ち工事の状況、手持ち資材の状況、手持ち機械の状況等の面から記載する。
2. 2. 直接工事費、共通仮設費、現場管理費又は一般管理費等の各費目別に、自社が入札した価格で施工可能な理由を具体的に記載するとともに、各理由ごとに、その根拠となるべき以下の様式の番号を付記する(以下の様式によっては自社が入札した価格で施工可能な理由が計数的に証明されない場合は、本様式又は添付書類において計数的説明を行うものとする。)